知って得する!

保護具の知識

「農薬を使うときの安全チェックリスト」付き

キチントくん
"自分に優しい生産者は、食の安全にも関心が深い!"をモットーに、きちんと作物を育てています。

お問い合せ先

社団法人　緑の安全推進協会
〒101-0047　東京都千代田区内神田3-3-4
TEL.03-5209-2512　FAX.03-5209-2513
http://www.midori-kyokai.com

農薬工業会
〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町2-3-6 宗和ビル4階
TEL.03-5649-7191　FAX.03-5649-7245
http://www.jcpa.or.jp

農薬を安全に使うため、きちんと保護具をつけましょう!

【マスクを選ぶポイントは?】

- 厚生労働省の国家検定に合格したマスクであること。
- マークの表示がラベル(農薬の製品ラベルのこと　以下同)にある場合は、安全使用上の注意事項の記載に従い「農薬用マスク」または「防護マスク」を必ず着用すること。
- マークの表示がラベルにある場合は、有機ガス用の「吸収缶付き防護マスク」を必ず着用すること。

【防除衣を選ぶポイントは?】

- 優れた防水性があること。
- ムレが少なく通気性がよいこと。
- 軽くて作業しやすく着心地がよいこと。
- 水洗いが可能で耐久性があること。
- ズボンの脱着時の引っ張りがあっても破れないこと。
- マークの表示がラベルにある場合は、不浸透性を有する素材で作られた長ズボン、フード付きの長袖の上着を必ず着用すること。

【保護メガネを選ぶポイントは?】

- ゴーグル型で曇り止め加工が施されていること。
- 保護メガネの上下部分に換気口があること。
- 眼鏡の上からでも装着できるような大きさがあること。
- マークの表示がラベルにある場合は、保護メガネを必ず着用すること。

【手袋を選ぶポイントは?】

- 乳剤、水和剤の散布液を調製する時は、ゴム手袋やビニール手袋を着用すること。
- マークの表示がラベルにある場合は、不浸透性を有する素材で作られた手袋を必ず着用すること。
- 汗で不快な時は、アンダー手袋を着用するとよい。

⚠ 臭化メチルの投薬作業時は薬傷の恐れがあるため、必ず素手で行うこと。

【靴を選ぶポイントは?】

- 防水性があること。
- 滑りにくいものであること。
- ラベルにゴム長靴着用の記載がある場合は、必ずゴム長靴を履くこと。

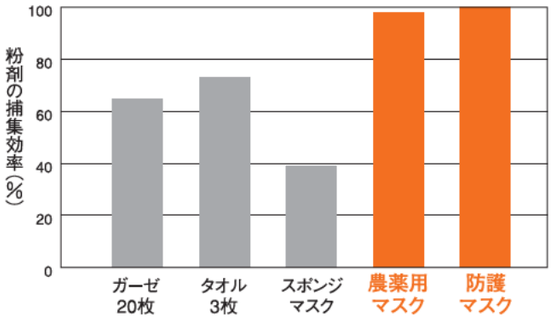
"不浸透性"とは?
素材の表面に付着した液体が、裏面にしみこまない性質のことです。

【マスクはこんなに有効!】

マスクをつけるのとつけないのとでは大きな違いがあります。右のグラフは、マスクをつけることで、農薬をどのくらい除去できるかを調べた結果です。手ぬぐいやタオルをマスク代わりに使った場合、約50%の農薬は除去されますが、残りの半分は吸い込まれてしまいます。ところが、国家検定合格のマスクを正しく使えば、ほとんど100%近い農薬が除去されるため、きわめて有効であることがわかります。

農薬の散布作業(散布液調製時から)には、性能の良いマスクを正しくつけるよう習慣づけましょう。

●粉剤に対する捕集効率の一例



農薬用保護マスク研究会「農薬散布に使用するマスクの手引き　2007年版」より

自分に優しさを。周りに気配りを。

農薬中毒事故ゼロは関係者全員の目標です。しかしここ数年間、発生件数の上では残念ながら横ばい状態となっています。

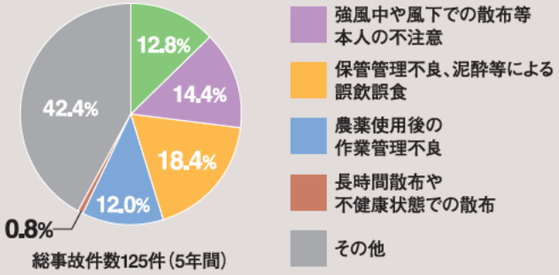
このことを踏まえ、平成21年に私たちは、保護具の着用を中心に、農薬の安全使用上のポイントを解説した冊子を作成しました。きちんと保護具を着用することを繰り返し呼びかけることで、装備不十分による事故をゼロにしたいと考えたからです。

これに続き今回は、保護具の選択のポイントや農薬を使う際に気をつけるべき点を盛り込んだチェックリストを作成しました。「きちんと保護具をつける」ことは、作業を行う自分自身への配慮であり自分への優しさです。また自分に優しい人は同時に、周辺住民や環境への気配りもできる人です。そのような優しさや気配りが、事故の減少にもつながります。

是非この冊子をご一読いただければ幸いです。

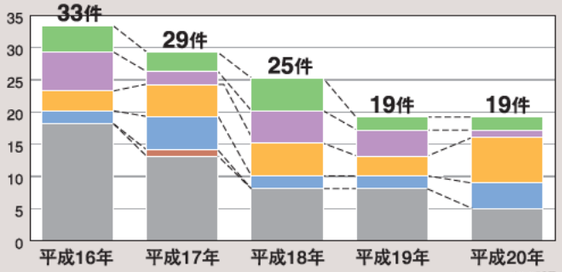
■農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況
(農林水産省の統計データを元にグラフを作成)

●中毒事故の原因別発生割合
(平成16年～平成20年)



総事故件数125件(5年間)

●中毒事故の原因別発生推移



10-05ST

【マスクの正しいつけ方】

■農薬用マスクの場合

粉塵・ミスト用の使い捨て式防塵マスクです。

鼻あてを曲げて鼻の形に合わせます。

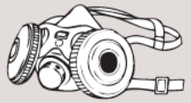
面体をあごに包むようにあて、先に下のひもを首にかけてから上のひもを頭上後部へつけます。

両手で鼻あてを鼻に密着するように押します。

フィットチェック しめひもの長さや位置、強さを調整し、マスクを上下左右に動かしても安定しているかどうかを確認してください。

■防護マスクの場合

ろ過材を交換できる取替え式防塵マスクです。
急性毒性の高い農薬使用時に着用しましょう。



しめひもの一方を首にかけ、面体をあごの部分から口部へ押しあてます。

面体を顔面につけたまま、しめひもを後頭部へかけてください。

面体を正しい位置へ合わせてから、しめひもの位置、しめかたを調節します。

※土壌くん蒸剤で使用する有機ガス用の「吸収缶付き防護マスク」の着用も同様に確実に行いましょう。

フィットチェック 吸気口を手で塞ぎ、軽く吸気するなどして、漏れ込みがなく密閉されているかどうかを確認してください。

農薬を使うときの安全チェックリスト

注意事項は、きちんとチェック☑しましたか？

目立つ場所に貼ってご活用ください。

使用前の準備

☐ **使用する農薬のラベルをよく読み、内容を確認しましたか？**
- ●使用方法、注意事項をよく読みましょう。
- ●使用基準を守りましょう。

☐ **適切な保護具を用意しましたか？**
- ●帽子、マスク、保護メガネ、長そで長ズボンの防護衣、手袋、長靴を用意しましょう。
- ●うがい・洗顔用の水、予備のマスクや手袋も用意しましょう。

☐ **散布器具を点検・整備しましたか？**
- ●エンジン、タンク、ホース、ノズル等を事前に点検・整備しておきましょう。

☐ **周辺の農家、近くの住宅に連絡しましたか？**
- ●近所の人とよく連絡を取り合い、事前に、散布の日程、場所を連絡しましょう。

☐ **体調に異常はありませんか？**
- ●体調不良のときは、作業を避けましょう。

使用直前のチェック

☐ **保護具を正しく着用していますか？**
- ●薬剤の計量・調製時から保護具を着用しましょう。
- ●天候に注意し、散布面積にみあった薬量を調製しましょう。

散布作業中の注意

☐ **風の強さや風向きは適切ですか？**
- ●強風時や日中の高温時での作業は避けましょう。
- ●風向きや散布方法に配慮しましょう。
- ●薬剤を吸い込んだり浴びたりしないように、注意しましょう。
- ●近くの住宅や周辺の農作物へ飛散しないように、注意しましょう。

☐ **体調に異常はありませんか？**
- ●長時間の作業は避け、適度な休憩をとりましょう。
- ●体調が悪くなった場合は、作業を中止しましょう。

散布作業後の注意

☐ **農薬の空容器・空袋は圃場などに放置せず適切に処理しましたか？**
- ●農薬は余らせて廃棄することのないようにすべて使い切りましょう。
- ●使用済み容器は、容器内に農薬が残らないよう3回以上洗浄しましょう。
- ●使用済み容器の洗浄液等は、農薬散布液の調製に用いるなど、圃場内で処理しましょう。
- ●洗浄済み空容器を、他の用途に使うのは絶対にやめましょう。
- ●野焼きは法律で禁止されています。許可された産業廃棄物処理業者に処理を委託しましょう。地域の共同回収・処分システムがある場合はこれを活用しましょう。

☐ **散布器具を良く洗いましたか？**
- ●後片付けの際も薬剤が直接体に付着しないよう、注意しましょう。
- ●器具の洗浄水は、河川等水系には流さず、周辺への流亡にも注意しましょう。
- ●作業が終わったら防除衣はすみやかに脱ぎましょう。

☐ **身体・衣服をきれいに洗いましたか？**
- ●入浴し、全身を洗いましょう。
- ●作業時に着用していた衣服は他のものと分けて洗濯しましょう。
- ●散布当日は飲酒を控えて早めに就寝し、疲れを残さないようゆっくり休みましょう。

☐ **農薬は安全な場所にカギをかけて保管しましたか？**
- ●食品と区別し、子供の手の届かない場所に保管しましょう。
- ●他の容器への移し替えは、誤飲・誤用の原因になるので絶対にやめましょう。
- ●除草剤は、誤使用防止のため他の農薬と区別して保管しましょう。
- ●毒物・劇物の農薬は専用の保管庫にカギをかけて保管しましょう。毒物には 医薬用外毒物 、劇物には 医薬用外劇物 の表示が必要です。

☐ **保護具は清潔な場所に保管しましたか？**
- ●付着した薬剤等を清掃し、袋に入れるなどして清潔に保管しましょう。汚染防止のため農薬と分けて保管しましょう。

☐ **体調に異常はありませんか？**
- ●体調に異常を感じたら、医師の診断を受けてください。

☐ **農作業の内容は、防除日誌に記帳しましたか？**
- ●作業内容の記録は、以後の農作業の参考になり、農産物の安全の証明になります。

＊農薬の中毒に関する緊急問い合せ先＊

（財）日本中毒情報センター

大阪中毒110番 072（727）2499（24時間）

つくば中毒110番 029（852）9999（9～21時）